

広報 よろん

No.313
2019

はじめての出会い、
わくわくがいっぱい！

ひとの動き

【令和元年7月末時点】

人口

5,254人

男：2,555人
女：2,699人

世帯数

2,616世帯

特集

- 1) 令和元年度 施政方針と予算編成
- 2) 新規 採用職員・地域おこし協力隊の紹介

与 広報 よろん

2019年 NO.313

編集・発行 与論町総務企画課

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花32-1
TEL: 0997-97-3111 FAX: 0997-97-4197
WEB: <http://www.yoron.jp> メール: sy-kouhou@yoron.jp

2020



東京五輪ホストタウンに登録
～ 与論町 ⇄ アンティグア・バーブーダ ～



■2019年3月に行われた調印式



■左：山町長
■右：アンティグア・バーブーダ
コーポレートガバナンス職員
パリシア・バリカホワイトさん

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで与論町がアンティグア・バーブーダのホストタウンとして登録されました。3月には知名町、和泊町と共に3町3国で内閣府にて調印式が行われ、知名町はグレナダ、和泊町はドミニカ国と、それぞれカリブの国とホストタウン事業に関する覚書に調印しました。

3町の合同調印式は、外務省が中南米の外交官らを対象に開いた研修会に合わせて設定され、内閣官房オリパラ事務局会見室で行われました。調印に先立ち、白須オリンピック・パラリンピック担当大臣政務官は「第12次登録で121地域とホストタウン登録がなされました。ホストタウンの取り組みで文化交流を推進したい」と挨拶されました。

調印式には和泊町の伊地知町長、知名町の赤地副町長、与論町の山町長が出席し、海洋ゴミやサンゴ礁白化問題といった共通課題に取り組む意欲を見せ、「スポーツ教室や相手国の文化を学ぶ場を通して子どもたちの主体性や多様性への理解が広がれば」などと語られました。

本町は東京からは距離もあり、本来なら五輪・パラリンピックに接する機会も少ないと思いますが、ホストタウン事業を通じて大会を身近に感じ、町全体で大会を盛り上げて行ければと思います。

【アンティグア・バーブーダ】



カリブ海に浮かぶアンティグア島、バーブーダ島の二島と幾つかの島から成る島国。主な産業は観光業でカリブ海の人気リゾート地として年間約20万人が訪れる。綿花、サトウキビ、果実が栽培され、サンゴの白化やハリケーンでの被災が多いことなど、与論と共通の課題がある。
国土：440km²（種子島とほぼ同じ）
人口：10.1万人
首都：セントジョンズ
公用語：英語



■アンティグア・バーブーダのビーチ



■アンティグア・バーブーダの街並み



ホストタウンプログラムとは、日本の自治体と、2020年東京大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などの多様な分野において交流し、地域の活性化等に活かしていくとともに、2020年を越えた未来永い交流を実現しようとするもの。ホストタウンは選手の事前合宿受け入れや交流事業などを行い、相手国と各自自治体が友好関係を築き、東京五輪をより一層盛り上げていく取り組みです。
※ホストタウンに登録されると、特別交付税措置として交流活動の1/2の支援が得られます。

令和元年度 与論町の予算編成

施政方針説明と合わせて各会計予算案が審議され、次のように決定しましたので、お知らせします。

予算総額 **69 億 358 万 8 千円**（前年比 20.35%増）

一般会計（前年比 26.32%増）※次ページ記載の重要施策に関連した予算編成

50 億 3,785 万 4 千円

特別会計

水道

特別会計（前年比 7.59%増）

16 億 7,919 万 8 千円

※国民健康保険、と畜場、介護保険事業、農業集落排水事業、後期高齢者医療に係わる予算

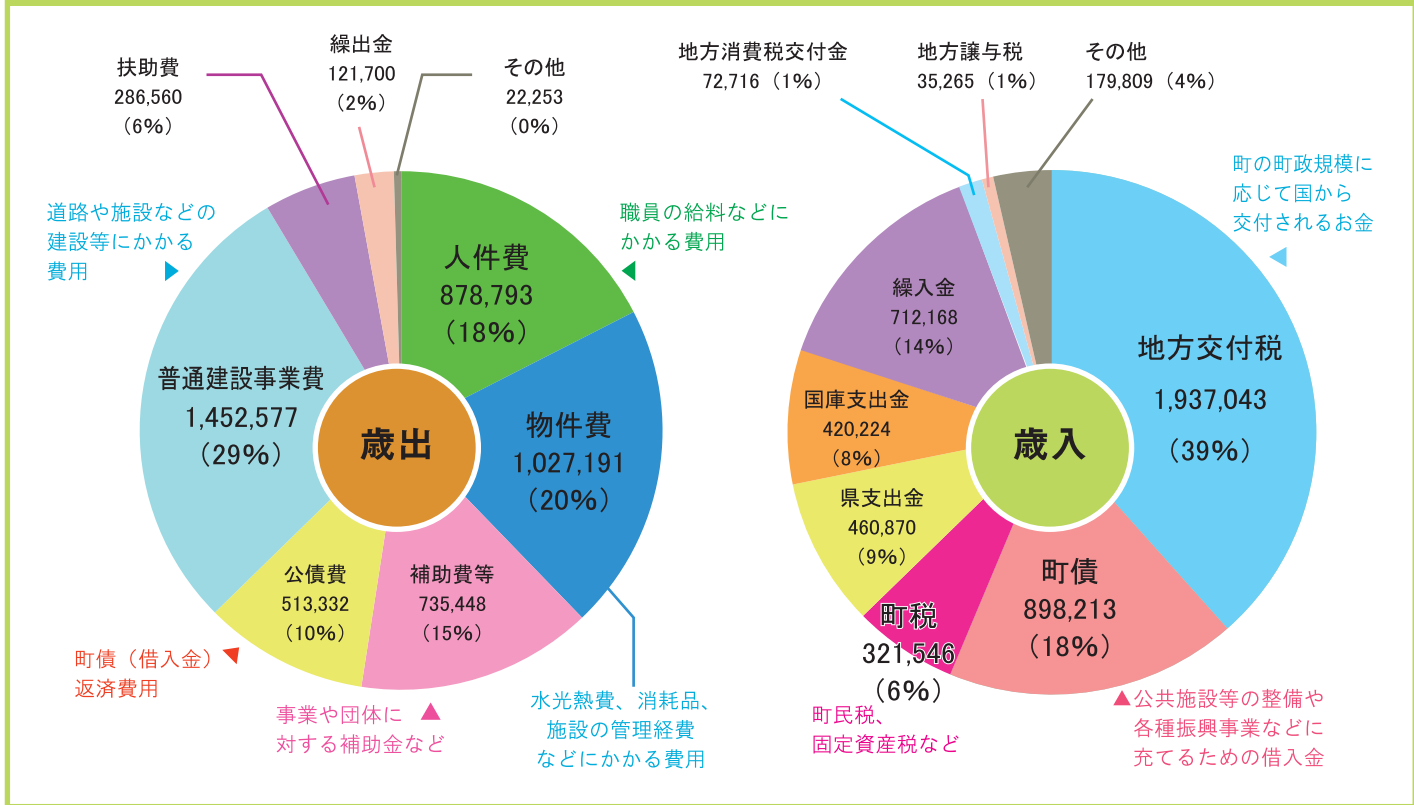
水道事業会計（前年比 0.5%減）

1 億 8,653 万 6 千円

※事業費用ベース

一般会計予算の内訳

単位：千円



◆主な歳入予算について

- ・基幹的収入である町税は… 3 億 2,154 万 6 千円。（前年度比、約 1 3 5 万 4 千円の減額）
- ・地方交付税については… 1 9 億 3,704 万 3 千円。（前年度より 6, 3 6 8 万 6 千円の増額）
- ・国庫支出金については… 4 億 2,022 万 4 千円。（前年度より 7, 5 4 2 万 7 千円の減額）
- ・県支出金については… 4 億 6,087 万円。（前年度より 1 億 4, 4 7 8 万 2 千円の増額）
- ・町債の総額は 8 億 9,821 万 3 千円。うち臨時財政対策債が 8,121 万 3 千円、辺地債が 5,130 万円、過疎債が 1 億 5,610 万円、公共施設等適正管理推進事業債が 4 億 530 万円、緊急防災・減災事業債が 8,800 万円、公営住宅建設事業債 8,680 万円など。※予算編成の過程で生じた財源不足については財政調整基金から 1 億 8,286 万 2 千円を繰入して対応。

◆主な歳出予算について

- ・与論町役場庁舎整備事業 9 億 3,270 万 9 千円、し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業費 5,453 万 4 千円、土木費の地方道路交付金事業費 1 億 6,127 万 3 千円、住宅費の 1 億 2,736 万 9 千円、消防費の消防施設費 2 億 1,717 万 1 千円などを計上。
- ・町債の元利償還に係る公債費については、対前年度比でマイナス 0.5%、2 6 9 万円減の 5 億 1,118 万 6 千円。

令和元年度

施政方針

平成 31 年、第一回与論町議会定例会で、山元宗町長が本年度の施政方針説明を行いました。その内容を紹介します。

平成 30 年は全国各地において多くの自然災害に見舞われた年でした。与論町においても台風などの自然災害に影響されやすい生活・産業・社会基盤の脆弱性が顕著に表れた一年であり、更なる「自然災害に強いまちづくり」への取り組みが重要であることを感じたところでございます。

重点施策の取り組みについて

◆奄美群島の取り組み

平成 30 年度末に「奄美群島振興開発特別措置法」（奄振法）が期限切れとなったことから、総合戦略ビジョンの改訂が行われました。

次期「奄美群島振興開発計画」（奄振計画）においては、時代の変化を捉えた多様な社会ニーズに対応する新しい奄振事業の推進が図られております。平成 31 年度奄美群島振興交付金予算については、対前年度比 102% の 24 億

◆与論町の取り組み

4400 万円が確保され、農林水産物が対象の「輸送費支援策」として、加工品の移出と原材料の移入対象が拡大される見込みとなっています。更に「航路・航空路運賃の割引対象拡大」により、群島外の中学・高校や大学などで学ぶ出身学生を準住民として軽減運賃が適用されます。このように生産活動の活性化や生活支援の拡充が図られるものと考えます。

本町の「第 5 次与論町総合振興計画」の 10 年計画は、平成 31 年度で 9 年目（第 3 期）を迎えました。第 1 期及び第 2 期実施計画における実績や課題等を踏まえながら、各施策の更なる展開が図られるよう本町の基本理念である「共に創ろう 未来への架け橋」のスローガンのもと、行政推進に努めてまいりたいと考えます。

※重点施策について、詳細は P 4 1 5 に掲載

まちづくり懇談会

令和元年 7 月 12 日（金）福祉センター



▲まちづくり懇談会の様子

令和元年 7 月 12 日に福祉センターにおいて「令和元年度まちづくり懇談会」を行いました。はじめに、町長及び教育長から、町政と町教育行政について概要を説明し、その後、出席者との意見交換を行いました。多くの方に出席していただき、町民のみなさまから町政に対する貴重なご意見を伺うことができました。

当日の説明資料及び会議録については町のホームページに掲載しております。
<http://www.yoron.jp>

町のホームページに掲載しています

「施政方針」の全文を読みたい方は ➡ 与論町ホームページ > 与論町議会 > 議会会議録 > 平成 31 年第 1 回(3 月)定例会会議録
「第 5 次与論町総合振興計画」については ➡ 与論町ホームページ > 町政 > 計画・方針 > 与論町第 5 次総合振興計画 第 3 期実施計画
人口推移や昨年度の財政などを知りたい方は、『町勢要覧』を与論町総務企画課にて希望者に向けて配布しています。お申し出ください。



福祉面において

消費税増税に合わせ、全世代型の社会保障制度の転換により国策として「より子育てのしやすい環境」や「より充実・安全な老後」が推進され、本町においても子育て世帯や高齢者世帯への支援を推進してまいります。



町営住宅整備事業

町営住宅整備

辻宮住宅の第 2・3 号棟、老朽化に伴う改修工事が竣工の運びとなり、辻宮住宅全戸について、快適な住環境整備を推進することができました。(写真)引き続き、瀬良座住宅について改修工事を推進してまいります。



し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業

し尿処理施設 建設

本年度に用地購入と基本設計業務、来年度の施設整備に向けて事業を推進してまいります。
また合併処理浄化槽の年次的整備を継続実施し、住環境整備、地下水の水質保全を図ります。



新規防災無線設置工事（町内一円）

防災行政無線の更新

防災無線の老朽化による不具合や総務省無線設備規則の改正に伴い、新庁舎整備に合わせて設備更新し、防災体制の整備・強化を図ってまいります。



旧役場庁舎の跡地利用計画

平成 30 年度に実施した町民アンケート調査結果等にもとづき、今後、与論町役場旧庁舎跡地利用検討委員会の中で協議を進めてまいります。



与論町役場庁舎整備事業

新庁舎整備事業

昨年 11 月に着工、令和 2 年 1 月の業務開始に向け事業推進に努めてまいります。
(写真は令和元年 7 月 12 日に撮影)

◆分野ごとの具体的施策・事業等

※ 施政方針より抜粋

第1. 保健・福祉・医療

1. 保健衛生について
・健康づくりの推進
・「健康よろん21」に基づいた健康づくり事業、施策の継続実施
・母子保健の推進
・島外における妊婦健診、出産の際の宿泊費及び交通費に対する公費助成制度の継続実施
・島外での特定不妊治療を受診する際の宿泊費及び交通費に対し、公費補助を継続実施
・感染症対策の充実
・定期予防接種費用に係る町費助成の継続実施
・火葬場に係る業務管理及び運営の円滑化
・管理、運営に係る委託業務体制の安定的、継続的な充実
2. 医療・介護・福祉について
・国民健康保険事業及び後期高齢者医療制度の推進
・中学生までの医療費の一部無償化による子育て世帯の子育て環境支援の推進
・高齢者福祉の増進
・従来の敬老バス無料乗車券をバスの助成額同等でタクシー乗車にも使えるようサービスの範囲を拡大
・障害者福祉の推進
・障害者（児）施設入院面会旅費補助及び、重度障害者（児）島外医療機関通院旅費補助事業（町単独）の継続実施
・児童福祉の充実
・2019年10月の消費税引き上げに合わせて、3歳から5歳までの全ての子供及び3歳未満の住民税非課税世帯の子供に対する、こども園保育料の無償化
・その他の福祉施策
・障害者等並びに乳幼児及び在宅寝たきり老人等の中で、常時紙オムツを使用する者に対し、オムツ廃棄用ごみ袋を支給
・与論町のち支える自殺対策計画の推進

第3. 生活基盤の整備

1. 道路・交通について
・窪舎1号線改良舗装整備
・前浜地区道路改良整備
・上田線及び那間茶花線の改良舗装整備、供利茶花線の一部及び与毛田橋架替舗装整備
・県道空港茶花線の改良整備
・茶花小学校前交差点改良及び未改良区間の事業化推進
・茶花信号機付近の湛水対策として暗渠を整備
・無電柱化の計画的かつ円滑な推進
・与論港岸壁面のエフロン補修、用地舗装
2. 住宅の整備について
・瀬良座住宅改修事業（1号棟）
・西区団地設計業務委託
3. 水道事業について
・イオン交換膜の洗浄、取替の実施
・道路改良に伴う管路更新
・自家発電機等の更新及び修繕
4. 農業集落排水事業について
・2020年度新規機能強化対策事業の準備
5. 環境保全について
・リデュース（排出抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の「3R運動」の推進による循環型社会の構築
・花と緑豊かな島づくりのため、各自治公民館等と連携を図り町全体の取組となるような花の苗の提供や島のイメージにふさわしい花木の植栽・沿道の緑化整備を推進し、自然と環境に対する意識が高まるような島づくりを進める



第2. 産業の振興

1. 農業生産基盤の整備について
・県営海岸保全整備事業（高潮対策）ハキビナ地区の継続整備
2. 農業の振興について
・認定農業者、担い手農家の育成や農地情報を有効活用した農地集積等を含めた経営規模拡大に対する支援
・輸送野菜の生産拡大、品質向上のためのさといも種子代及び自家種芋確保対策、野菜トンネル施設や、花き・果樹にも利用出来るハウス資材の一部助成、植付作業委託料の一部助成
・優良素牛導入補助金による高齢母牛の更新と増頭
・堆肥センターの良質堆肥及びIPM技術を活用した環境保全型農業の推進
・有機認証農家やエコーファーマーの育成及びかしま農林水産物認証制度の推進
・耕地防風林の造成推進のための防風林用苗木代の一部助成の実施
3. 水産業の振興について
・離島漁業再生支援交付金を活用した諸事業を実施するとともに、農林水産物輸送コスト支援事業の活用による漁家の経営安定を図り、また急速液体冷凍機等の鮮度保持機器等を活用した加工品の販売支援
4. 治山・海岸保全事業の推進について
・ハキビナ地区で実施されている海岸防災林造成事業の継続整備と海岸保全施設整備事業（高潮対策事業）の推進
5. 漁港の整備について
・麦屋漁港水産基盤機能保全測量設計委託
6. 商工観光業の振興について
・地域企業家人材育成事業を活用した新サービスや、新たな雇用機会の創出に繋がりうる地域内起業の促進
・補助事業を活用した映像戦略やSNSなどの情報発信、広域連携事業の推進・PR動画制作やデジタルマーケティング（運営解析）
・航空、船舶会社や各旅行会社との連携及び協力によるツアー造成等誘客活動の推進
・与論島の最高の観光資源である「自然」と「人」を活かした観光「ゆんぬツーリズム」「ヒューマンツーリズム」の推進

第4. 教育・文化

6. 消防防災・防犯・交通安全について
・広報活動や防災訓練等による町民の防災意識の高揚、推進
・新防災行政情報伝達システムの構築による防災体制の充実
・災害に強い町づくりや災害発生後の早期復興を目的とする国土強靱化地域計画の策定
・警察及び与論町嶋中安穩協会と連携した啓発活動の展開
・警察、県交通安全協会と与論地区協会等の関係機関と協力した各種啓発活動の展開
- 第4. 教育・文化
1. 豊かな心と健やかな体を育む教育
・道徳教育の充実
・体力、運動能力の向上
2. 社会で自立する力を育む教育
・確かな学力の定着
・キャリア教育、進路指導の推進
3. 信頼される学校づくり
・開かれた学校づくりの推進
・安全、安心な学校づくり
4. 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり
・地域ぐるみでの子どもの育成
5. 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興
・生涯スポーツの推進
・文化財の保存、活用
- 第5. 町政運営の推進体制
1. 行政改革等について
・効率的効果的な組織体制と意思決定や合意形成機能の強化
2. 財政改革について
・縮小社会に適応する公共施設の最適化
3. 住民参加の体制強化について
・週報やホームページ等の情報公開による外部意見の収集及び提言等の反映

新規採用職員の紹介

平成 31 年 4 月 1 日付で、役場職員として8名が採用されました。
与論町に新しい風を吹き込んでくれることを期待します。



▶ 4月1日、辞令交付式後の集合写真

※写真 上段右から2番目より

◆町民福祉課 保健センター
池田 ひとみ

昨年より臨時職員として保健センターでお世話になっており、今年度より職員として勤めさせていただきますこととなりました。

これまでの看護師としての経験を活かしつつ、微力ながら町民の皆様の健康を守るお手伝いをさせていただけたらと思っております。
まだまだ至らない点も多いと思いますが、一つ一つ丁寧に対応させていただきますと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくをお願いいたします。

◆水道課 田島 英暁

私は、大阪出身ですが、与論島の自然の美しさや魅力、何よりも人柄の良さに惹かれまして、与論

島に来ました。

まずは与論島の事をよく理解し、与論島民の皆様がより笑顔に暮らせる島づくりに少しでも貢献できればと思います。

これから与論島の為精一杯努力致しますので、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

◆商工観光課 沖島 重範

高校卒業後、与論を出ていろいろなものを見ていく中で、改めて与論島の魅力を感じいつかは貢献したいと思うようになりました。
役場に入って同級生の先輩方の前に右往左往の連続ですが、一日も早く仕事を覚え、与論の観光に貢献できるよう努めていきたいと思っております。

本当に至らないことばかりですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

◆町民福祉課 高井 智美

初めての業務に自身の至らなさを実感する日々ですが、素晴らしい職場の先輩方や温かい地域の皆様のお力添えをいただきながら、担当する仕事にしっかりと責任を持ち理解を深め日々精進していきたいと思えます。

島民の皆様の住みやすい暮らし作りのお手伝いができるよう、また大好きな与論島に恩返しができるように、微力ではありますが精一杯努力したいと思えますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

◆総務企画課 林 左知子

与論に戻り5年目になり、これまでは臨時職員として商工観光課や産業振興課で、地域の方々には大変お世話になりました。

◆建設課 林 真理

まだまだ至らないことも多く、学ぶことの多い毎日ですが、お世話になった町民の皆様のお役に立てるよう精一杯取り組んでいきたいと思えます。これからもどうぞよろしく願います。

建設課での業務はこれまでの仕事とは異なり新しく仕事を覚えることに精一杯の毎日ですが新しい発見の連続でとてもやりがいを感じております。

新しい仕事を任されることで不安もありますが、与論島民の皆様のために努める機会をいただけたことに感謝し、信頼される職員になれるよう精一杯努めたいと思います。

これから少しでも役に立てられるよう努力していきたいと思えますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

※写真 下段右から2番目より

◆町民福祉課 増尾 朝子

学生時代から大好きなこの与論島で、町民の皆様のために働けることを嬉しく思っております。

初めての経験が多く未だ戸惑うことばかりですが、役場の先輩方はもちろん、町民の皆様の温かさにも支えられながら励んでおります。

一日でも早く仕事を覚えられよう、また町民の皆様に親しみやすさを感じていただけるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◆建設課 竹内 正明

今年度より、建設課へ技師として配属となりました。

最終学歴は与論高校で、卒業してから10年間鹿児島県の橋梁専門の

建設会社に、帰島してからは12年間、有限会社町富建設に勤務し、大変お世話になりました。

今回建設課に配属になり、現在道路交付金に関する事業（船倉茶花線、供利茶花線）、茶花地区排水路整備事業、県道拡幅整備、測量電算に関する業務等を主に行っています。同じ建設関係でも経験したことのない業務内容に四苦八苦しております。が、課長をはじめ先輩方が頼れるすばらしい方ばかりなので、少しだけホッとしているところです。

最後に、一日でも早く役場職員として地域社会に貢献できるように頑張りますので、諸先輩方ご指導をよろしくお願い致します。

写真上段 右端… 久留副町長

左端… 山町長

写真下段 右端… 地域おこし協力隊 宮崎

左端… 福地議長

議長隣… 佐多代表監査委員

平成 30 年度は、全国から 2,488 万 4 千円の寄附金が集まりました

項目別

事業名	金額	件数
サンゴ礁と共生する環境保全	14,251,000円	481
離島の振興	8,604,000円	172
ヨロンマラソン大会の運営	1,048,000円	34
与論十五夜踊りの保存	921,000円	26
指定なし	60,000円	3
合計	24,884,000円	716

寄附者のメッセージでは「綺麗な島の維持のために寄附を使ってもらえると嬉しいです」「サンゴの美しい海をいつまでも守ってください」などといった海や環境保全に向けられたメッセージが多くみられました。

ふるさと納税

寄附の活用状況

使途内訳	金額
海の再生事業 ・リーフチェック(写真) ・サンゴ礁モニタリング ・オニヒトデ・サンゴ食害生物の駆除 ・サンゴ・環境保全教育	424,000円
観光地へのAEDの設置 ・サザンクロスセンター(写真) ・グラスボート組合所 ・シーマンズビーチ	525,000円
大金久遊歩道への植栽・管理費	50,000円
子供向け植樹イベント	150,000円
道路脇へのヤシの木等の植樹・整備	235,000円
城跡の周辺整備	775,000円
行幸啓に関する費用	1,656,000円
中学校グラウンド整備	3,240,000円
合計	7,055,000円

AEDの設置



リーフチェック



毎年、寄附金額・件数が増えています。みっしーくとーとうがなし！島内事業者からの返礼品への協力も増えました！

与論を生まれ故郷に持つ方や心のふるさとに想う方々からいただきましたご寄附を、島のため、島に住む人・訪れる人のために有効に活用してまいります。

「ふるさと納税制度」とは？ …生まれ故郷や、ゆかりのある土地など応援したいと思う自治体に寄附し、地方を元気づけ、応援できる制度です。

◆お礼の品など詳しくは、『ふるさとチョイス 与論町』で検索できます ➡ <https://www.furusato-tax.jp/>



地域おこし協力隊の紹介

平成 30 年度末、与論町地域おこし協力隊の 2 名が、3 年間の任期を終了しました。本年度より、新たに 2 名を採用いたしました。

わたしたちに島のことを教えてください！よろしくお願いします！！

いそむら あいこ
名 前：磯村 愛子
出身地：福井県
配 属：教育委員会



みやざき ともみ
名 前：宮崎 知美
出身地：東京都
配 属：総務企画課

私は出身地は北陸の福井県ですが、大学進学をきっかけにそれ以降は関西で勉強・仕事をしました。前職では家具店でインテリアデザイナーとして、12 年間住環境に関わる仕事をさせて頂いていました。教育委員会配属ということで、新しい環境・仕事内容になり皆さんのサポートを頂く事の方が多いかと思いますが、まずは与論町の事を知り、地域の方に覚えて頂くことから始め、少しでも早く自分の経験・知識を活かして、与論町に貢献できる活動をしていけたらと考えています。

私は子供の頃から毎年家族旅行で与論島に来ていました。島の皆さんに親切にいただいたおかげで与論島が好きになり、与論高校に進学しようとしていたこともあり、残念ながらその計画は実現せず、長い間東京や海外で働いていましたが、昨年ひさしに与論に訪れて以来「与論のためになることをしたい」と強く思うようになり、移住を決意しました。皆さんに恩返しができる地域おこし協力隊という最高の立場で仕事ができることをとても嬉しく思っています。

任期終了後の地域おこし協力隊は今・・・？

与論町は 2016 年に 2 名の地域おこし協力隊を採用。任期を終えた 2 名は今も与論町に住んでいます。

◆佐藤 伸幸…現在は貸別荘の管理や、国内外のお客様向けの観光ガイド、中央公民館で中国語講座を行っています。あぐんちゃヴィラ <https://yoron-villa.com/room/>

◆原田 理恵子(旧姓 山岡)…現在は銀座通りで NPO 団体等の共同事務所「シマノマ」を運営。また、個人でデザイン事務所を開業しました。



地域おこし協力隊って何？

- ・総務省の取組みのひとつ（国が支援）
 - ・都市から人材受入れ。自治体が委嘱した活動（地域活性等）に従事してもらい、任期後も定住を図る。任期は最大 3 年間、延長なし。
 - ・日本全国で 5,359 名の地域おこし協力隊がいる。
 - ・与論町では現在 2 名。奄美群島各島にもいる。
 - ・20 ～ 30 代が中心だが、募集条件や就任後の待遇は自治体により違う。
- ※詳しくは、総務省の HP をご覧ください。

▶茶花小学校の生徒たちも
拾い箱にペイントするなど活動推進に一役買った。



▶観光客が海岸で拾った
ごみを入れていた現場に遭遇。



「拾い箱プロジェクト」とは…？

与論島の海岸に大きな箱を置き、気付いた人が気軽にゴミを拾えるようにした活動。

特定の誰かが行うのではなく、大切な場所にごみがあったら自然と手が伸びる、そんな人がたくさんいる地域を目指して、「一人の100歩から100人の一歩へ」という想いで始まりました。最終処理場までの運搬・処分は行政が担当、漂着ごみが多い海岸に設置しています。



「拾い箱」が日本財団賞！

海ごみゼロアワード

近年、海洋ごみ等による海洋環境の汚染、人々の生活・健康への影響等が危惧されており、国際社会においても、積極的に対策を行うことが急務となっています。

この様な中、環境省と日本財団の共同事業として、6月17日（月）に海ごみゼロ国際シンポジウムが東京都内で開催されました。

シンポジウムでは、優れた海洋ごみ削減の取り組みを選ぶ「海ごみゼロアワード」の表彰式が行われ、実践的活動が対象のアクシオン部門で、与論町の「拾い箱プロジェクト」（誇れるふるさとネットワーク・与論町環境課）が、「日本財団賞」を受賞し、与論町の活動が高く評価されました。

与論小学校卒業生が、西区公民館の外壁に、与論島の絵を描いてくれました。

通いやわ、いじりあ
見しんやわ。



上手に描けたよー

各校の入学生徒数

与論小学校	15名
茶花小学校	25名
那間小学校	11名

与論中学校	53名
与論高校	41名

平成31年度4月、与論町内の各学校で入学式が行われました。入学生及び保護者の皆さん、おめでとうございます！



入学式

平成31年4月8日（月）・9日（火）

ご入学おめでとうございます



茶花小学校



与論小学校



那間小学校



与論高校



与論中学校

ヨロンー国頭物産フェア



5月31日から3日間、イオンモール沖縄ライカム店で「ヨロンー国頭物産フェア」を開催しました。与論町から10業者、国頭村から4業者の出店、ステージや体験イベントも数多く用意し、たくさんのお客様にご来場頂きました。また、国頭村役場を訪問し、今後の連携・交流の取り組みについて意見交換を行うなど、今後さらに連携を深めていく考えです。

社会を明るくする運動強調月間（7月）に伴う 内閣総理大臣・県知事メッセージ伝達式



第69回全国社会を明るくする運動強調月間にあたり、内閣総理大臣と県知事からのメッセージが、保護司代読のもと、山町長へ伝達されました。この運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的として、法務省が主催する全国的な運動です。まずまず住みよい与論町の町づくりを目指して、町民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

やんばる駅伝競走大会



5月25日（土）、伊是名島で第29回やんばる駅伝大会が開催されました。やんばる駅伝大会は、伊是名2チームと名護市3チーム、与論町を含む沖縄北部12市町村の16チームで毎年開催。与論町メンバーは当日朝、漁船にて応援団と一緒に伊是名島に出发。9名の走者がたすきを繋ぎ、10位と健闘しました。優勝は4大会ぶり本部町が手にしました。

優良海洋センターとして表彰



青い海と緑の大地を活動の場に、青少年の育成と幅広い年代の健康づくりを推進するB&G。5月23日（木）南九州ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会が行われ、前年度の施設別全国利用者人口比率ベスト5に入ったとして与論町B&G海洋センターが「艇庫の部」「温水・加温プールの部」、また学習と体験活動による子育て支援事業『B&G塾表彰』を受けました。（写真左側）

令和記念 まごころ市



5月1日（水）、与論町生活研究グループまごころ市では、新しい年号を祝うと共に日頃の感謝の気持ちを込めて、令和記念月市を開催しました。新年号を記念し、来場された方にゴーヤーのかりんとうや、花のプレゼントや野点を行い、もてなしました。沢山のお客様に足を運んで頂き、大盛況のうちに幕を閉じる事ができました。

さとうきび生産振興大会



5月19日（日）、JA会館よろんにおいて、与論町さとうきび生産振興大会が開催されました。生産農家、糖業関係者、JA及び行政関係者など約230名が参加。「オーガニックシュガーをめぐる情勢」や「さとうきびで儲けるためのポイント」と題した講演が行われ、梅雨明け前の灌水の重要性や株出し管理のポイント、各品種の特徴など説明を聞きました。

豊年祭・与論十五夜踊り



4月19日（金）、「豊年祭」が行われ、地主神社へ与論十五夜踊りが奉納されました。今回、与論高校1・2年生が十五夜踊りを見学。高校では、総合的な学習の授業として与論島の良さを発見できるような学習に取り組んでいます。生徒たちは事前に学校で十五夜踊りについて説明を受けていたこともあり、より理解が深まった様子でした。

吉田義人さんラグビー教室



5月11日（土）ラグビー元日本代表の吉田義人さんより、与論町の知人を通して「ラグビーワールドカップの機運を各地で盛り上げたい」と提案があり、与論町にてラグビー教室の開催が実現。町内の小学生・保護者、ラグビー経験者ら約40人が参加。ボールの持ち方、キックやキックなど教わり、子どもたちは目を輝かせてラグビーを楽しんでいました。

▶那間小学校に体験入学
(私服が泰阜村の子どもたち)



長野県
長野市

与論島 × 泰阜村

地域を越えた、こどもたちの交流事業

【主催】NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
【後援】長野県泰阜村教育委員会、与論町教育委員会 他

長野県泰阜村の小学生5名が2泊3日の交流事業で与論島を訪れました。山に囲まれた泰阜村。海を見るのも飛行機も初めてという子どもたち。与論島の海に大興奮で遊び(表紙写真)、キャンプや民泊体験、最終日は那間小学校で与論島の子どもたちに混ざって授業を受けました。

地方の魅力が見直されている今、与論島でもUターンの若者が増えています。この交流事業は、那間小学校出身の池田龍介さんが以前働いていたNPO法人との縁を結び、与論の海洋業者や教育委員会等の協力を得て実現。

主催のNPO法人によると、「地域を引き継いでいくこどもたちが、相互交流を通して『当たり前』にある自分の地域の財産に気付いてほしい。また、『まだ知らない世界がある』『自分が動けば世界が広がる』そんな感覚を知ってくれたら」との思いで企画されたとのこと。

交流事業を通して、子どもたちの可能性が広がることを期待します。

与論町の お酒事情...

飲酒日の 1日当たりの飲酒量	与論町	国
1合未満(日本酒) →ビール換算で 500ml未満	31.4	64.7
1合以上(日本酒) →ビール換算で 500ml以上	68.6	35.3

表1：健診質問票(H30年度KDBデータ)より

飲み過ぎの人の割合は国の2倍!!

厚生連健診の質問票データ集計(平成30年度)によると国と比較して与論町の皆さんは2倍近い割合の人が適度な飲酒量を超えて飲んでいることがわかりました。(表1：お酒を毎日もしくは時々飲む方で飲酒日1日当たりの飲酒量がビール500ml以上の方)

●適度な飲酒量ってこんなに少ない!?

「厚生労働省健康日本1」より



男性
ビール15%
だと500ml



女性
ビール15%
だと350ml

～スマートな酒飲みになるために～講演会開催(役場、JA職員対象)



与論町健康づくり計画の一環として、役場とJAの職員を対象に国立病院機構久里浜医療センターより講師を迎えて5月27日～28日に講演会を開催しました。講師の先生から、『お酒を長く楽しく飲み続けるための『上手な飲み方のコツ』や『飲み過ぎている人への上手な声掛けの方法』などをお話していただきました。(下記参照)

次回は町民の皆さま向けの講演会も計画(10月以降)して講演会の様子(R1.5/27,5/28実施)しますのでその際はぜひご参加ください。

講師の伊藤先生より『上手な飲み方アドバイス』



国立病院機構
久里浜医療センター
心理療法士
伊藤 満 先生

国立病院機構久里浜医療センターは、昭和38年に日本で初めてアルコール依存症専門病棟を設立し、また平成元年にはWHO(世界保健機関)から日本で唯一のアルコール関連問題の施設として指定された病院です。

ポイントはたったの2つ!! 飲むときには...

①アルコールと同量の水を飲む

お酒が薄まれば、体への影響が軽減!

②飲む前に食べておく(トマトがおすすめ)

トマトの食物繊維がアルコールを吸着する高性能スポンジ♪大玉なら1個、中玉なら2個!

《どうやって実行する?》

居酒屋で... ★「トマトファースト」で、冷やしトマトをまず食べる

★1テーブルに1つピッチャーで水をお願いする

個人で... ★マイペットボトルに水を入れて宴会に持参

★友達に水を勧めるお節介さんの普及♪

★トマトを持って飲み会に♪やってみる価値ありですよ!

～楽しい食事と生活～フレイル予防

※フレイルとは老化に伴い筋力や活動が低下している状態(虚弱状態)のことです。

- 高齢者は低栄養からフレイル(虚弱状態)に陥りやすく、疾病や介護の大きなリスクとなります。フレイル予防のためにもシニア世代の「食生活」は重要で、特に「口から食べる」ことは最も優れた栄養補給法であり、全身の機能を復活させることのできる最善の方法です。
- 鹿児島県では、食によるフレイル予防のための手引を作成しています(県ホームページに掲載)

<https://www.pref.kagoshima.jp/ae06/frail.html>

お問合せ先

与論町保健センター

TEL: 97-5105 FAX: 97-5110

第4回

保健センターだより

このコーナーは

町民のみなさまへの健康情報や、保健センターからのお知らせ等をお伝えしています。



戸籍の窓

令和元年
4月～6月

※出生、死亡、婚姻とも掲載許諾を頂いた方のみ掲載しています。(敬称略)

お誕生おめでとうございます

(氏名・保護者・集落)

◆5月届出分

西村 圭偉 ケイ 翼 城
行野 瑛音 エイト 嘉光 西区
白石 ヤマト 和行 立長

◆6月届出分

内野 奨人 ショウト 優三郎 茶花
池田 笑穂 エミホ 一樹 那間
西 夏海 ナツミ 竜治 東区
久永 ミク 信孝 立長
山下 莉歩 リホ 秀人 東区
山下 彩歩 サホ

「冥福をお祈りします」

(氏名・享年・集落)

◆4月届出分

町本 タケ 98歳 那間

◆5月届出分

竹山 ウメ 104歳 那間
叶 松枝 87歳 立長
西 富行 64歳 東区
向井 光子 75歳 立長
川田 富雄 84歳 茶花
岩村 全勝 90歳 立長
入来 里志 43歳 古里

いつまでもお幸せに♡

(氏名・地区)

◆5月届出分

関 良太 東区
供利 七星 那間

◆6月届出分

杉村 剛 茶花
有馬 日紗美 茶花